

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 465番
- *交読文 …………… 1番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 9番
- 礼拝のための祈り ……… 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 …………… 521番
- メッセージ …………… カイン2 - 呪いと拒絶と放浪の原因(創世記 4:6-15)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 326番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい。____の怒りは、神の義を実現するものではありません。ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを、すなおに受け入れなさい。みことばは、____のたましいを救うことができます。また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。____がみことばを聞いても行なわないなら、____の生まれつきの顔を鏡で見ると、____をながめてから立ち去ると、すぐにそれがどのようであったかを忘れてしまいます。ところが、完全な律法、すなわち自由の律法を、____が一心に見つめて離れないなら、すぐに忘れる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。そういう____は、その行ないによって祝福されます。(ヤコブ 1:19-25)

主への捧げ物が受け入れられなかったカインは、怒り、主に對し顔を伏せるという傲慢な態度を取ったが、主は彼を早速罰するのではなく、彼を恋い慕う罪から助け出そうと、彼に「罪を治めよ」と助言した。罪を治めるとは、前回学んだ通り、神に逆らって立つ全ての思いを捕縛してキリストに服従させる事である。しかしカインは、主のアドバイスどおりにせず、罪を治める努力をせずに、逆に、怒りに身を委ねた。『カインは弟アベルに言った、「さあ、野原へ行こう」。彼らが野にいたとき、カインは弟アベルに立ちかかって、これを殺した。』(創世記 4:8) こうして人類初の殺人は、女から生まれた最初の人によって行われた。アベルは、カインの手によって血が流れ、カインの目の前で倒れ、カインの目の前で息が絶えた。アベルはもう二度と、その目がカインを見る事はなくなり、その口でカインに語りかける事も、なくなった。全能なる主は、どれ程心を痛めていただろう。それでも主は、再度、カインのほうに歩み寄った。『弟アベルは、どこにいますか。』(創世記 4:9a) この主からの問いかけに、自分は一体アベルに何をしてしまったのか、アベルは今どうなって、一体どこに行ってしまったのか、そこに思いを馳せるのではなく、さらに傲慢無礼になって、「知りません。わたしが弟の番人でしょうか。」(創世記 4:9b) と、主に答えた。

怒り。それは、兄弟姉妹への愛と憐れみを忘れさせ、主から伸べられた救いを忘れさせ、主への恐れと、地獄の刑罰に対する恐れをも、忘れさせる。主は、人の怒りにひるむお方ではないし、「ああそうですか、それじゃ他を当たります」などと退くような方ではない。主は、侮られるような方ではない。自分の為した結果と、神の前で告白した言葉の報いは、きっちりと、受けるのである。自ら手を下して動かなくなってしまった兄弟姉妹を見ても、何とも思わない者、自分が一体兄弟姉妹に何を言ったか、何をしてしまったかに、心を配らない者、全能者を前に、恐れる心もなく、うそをつき、楯突くような者は、仕事が呪われ、人々からも忌み嫌われ、どこにも居場所が無くなり、さすらい人となるのだ。

『主は言われた、「あなたは何をしましたのです。あなたの弟の血の音が土の中からわたしに叫んでいます。今あなたはのろわれてこの土地を離れなければなりません。この土地が口をあげて、あなたの手から弟の血を受けたからです。あなたが土地を耕しても、土地は、もはやあなたのために実を結びません。あなたは地上の放浪者となるでしょう。』(創世記 4:10-12)
 不当に流された血は、その地を汚す。カインは土を耕す者だったが、その土地はカインにとって呪われたものとなり、もはや彼が耕しても、地は彼に敵対して、産物を出さない。
 不当に傷つけて流された血は、主に向かつて叫ぶ。経済的に流された血も主に叫び(ヤコブ 5:4-5)、貧しい人の心が流した血の叫びを、主は忘れる事は無い。(詩篇 9:12)
 その叫びによって、血を流した者の手のわざは呪われる。そして流されてきた義人たちの血は、アベルの時から積み重なっており、終わりの日に、血を流した者たちの上に返ってくるのである。(マタイ 23:35)

自分の罪や恥ずべき事を「指摘」された時、嫌がったり、話題を逸そうとしたり、あるいは指摘している人を逆に訴える者がいるが、そのような人は、いつまでも呪われた生き方から脱却出来ない。自分の罪と向き合う事をしないから、罪は相変わらず手付かずのまま残ったままで、その罪が、神との隔ての壁となり、祝福の窓はふさがったままだからだ。カインもアダムも、神様から罪を指摘された時、それを認めるのではなく、逆に訴え、それで呪いが確定してしまったように、罪を認めず、神や人を逆に訴える者の受ける分は、呪いと人々からの拒絶と放浪である。

『カインは主に言った。「わたしの罪は重すぎて負いきれません。』(4:13) この言葉には少しだけ、神様に憐れみを求める意図が見えるが、続く言葉は、これから待ち受けいる呪いへの悲嘆とつぶやきに満ちている。それでも神は、そんな彼のわずかばかりの憐れみを求める願いにこたえて下さり、出会う者がだれも彼を撃つことのないようにと、カインにしるしを付けて下さった。**神は幾度、カインに憐れみで歩み寄ったろう!**カインは神の憐れみにへりくだり、悔い改めるべきだったが、そうではなかった。次回に詳しく見ていきたい。神に逆らって立つ全ての思いを捕縛してキリストに服従させ、罪を逆に支配する皆さんでありますように!

横浜天声キリスト教会 礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語通訳有) 10:30
 食事/フェローシップ 12:00～
 2部礼拝 14:00
 聖書の学び会(伝道者の書) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
 火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
 2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
 JR・関内駅より徒歩10分
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
 聖書メッセージをメールで
 毎日携帯にお届けします。
 左記コードを読み込み、
 空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト

